

にししえん

【前期後半開始】

8月26日(水)より、前期後半の学習がスタートしました。久しぶりに登校してきた子どもたち、先生との再会に笑顔を見せたり、恥ずかしそうにしたりする姿も見られましたが、教室では、夏休みの思い出を話す様子も見られ、賑やかな日常が戻ってきました。残暑厳しく、熱中症の危険度も高い日が続いています。活動場所の室温計測、定期的な水分摂取を心掛けながら学習を進めてまいります。また、下校時刻も気温が高く、熱中症のリスクが高まるため、放課後等デイサービスの送迎車両停車場所を玄関前に限定し、子どもたちが外で待機する時間を短くするようにしています。自家用車での送迎時にも、玄関前のスペースをご利用ください。

【夏休み中の職員研修】

夏休み中も、職員の専門性の向上を目的に、様々な校内研修を実施しました。「医療的ケア研修」では、総合療育センターの藤田医師を講師にお招きし、学校で行われている医療的ケアについての知識を深めました。「自立活動研修」では、個別の指導計画の作成に係る、実態把握や、自立や社会生活に向けて身に付けさせたい力は何かを学年の教師同士で話し合いました。また、「トライウォール」という強化段ボールを材料として、児童生徒が日常生活で活用できる椅子の製作にも取り組みました。「食育研修」では、九州歯科大学の久保田先生をお招きし、嚥下発達や食事指導の留意点を学ぶことができました。研修で学んだことを実際の指導に生かし、こどもたちが「わかった」「できた」という喜びを感じられるように努めてまいります。

【九州地区肢体不自由教育研究大会福岡大会に向けて】

10月28日(水)～30日(金)に開催される大会まで、2か月を切りました。校内では、高等部と中学部を中心に、当日参加される九州内の肢体不自由特別支援学校の先生や保護者へのお土産制作に取り組みました。また、大会に向けた実行委員会では、29日(木)の学校の取り組みの発表者(ポスター発表)や、30日(金)の本校の学校公開時の授業者を決定したり、学校紹介VTRを作成したりと、着々と準備を進めています。学校公開日は、文部科学省より初等中等教育局視学官(併)特別支援教育課特別支援教育調査官の菅野和彦様をお招きし、ご講話をいただく予定です。後日、大会案内と参加希望調査を配布いたします。大会へのご理解とご参加をよろしくお願いいたします。

【お願い】

○学校から急ぎ連絡があるときや休校等のお知らせには「tetoru」を使用しますので、登録・確認（既読）をお願いします。

○遅刻欠席連絡については、当日8時30分までは「teturu」で、それ以降は、電話でお知らせください。

○17時以降は留守番電話に切り替わります。急ぎの方や折り返し連絡の場合は、お手数ですが、アナウンス後に学部とお名前をお話してください。

